

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	緩和医療専門育成コース（正規課程）（テーマ①）
対象職種・分野	医師 ・ 緩和医療
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療や神経ブロックなど多職種と連携した質の高い痛みの治療・ケアを実践し、終末期医療までを通じてがん患者に高いQOLを提供できる緩和ケア医</li> <li>・地域のがん緩和医療の現場を担う専門人材不在解消のため、地域に定着する緩和ケア医</li> <li>・がんゲノム医療・個別化医療などの最先端のがん医療に加え、腫瘍循環学や腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学などの発展しつつある領域も理解できる緩和ケア医</li> <li>・国際的な視点で質の高い臨床研究を企画・遂行できる緩和ケア医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ*（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特（4単位）、腫瘍関連学際領域特論（2単位）、緩和ケアトレーニングⅠ～Ⅲ（9単位）、論文研究（10単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;、次世代腫瘍予防学特論（2単位）、臨床腫瘍研究開発学特論（2単位）、がんプロ合同セミナー#（2単位）、がん医科学セミナー（2単位）ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む。</p>
がんに関する専門資格との連携	緩和医療専門医（日本緩和医療学会）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種と連携した緩和医療専門医を養成する講義・実習内容（新規性）。</li> <li>・地域のがん緩和医療の現場を担う専門人材を育成。</li> <li>・多職種と連携した緩和医療、終末期医療、難治がん、小児がんのいずれかに博士研究テーマを持つ（独創性）。</li> <li>・国内外との共同研究を積極的に行う（留学期間を在学期間に参入する規定あり）。</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学病院緩和医療科および東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野の教授以下の教員4～5名が中心。</li> <li>・腫瘍内科、放射線治療科、呼吸器内科、乳腺内分泌外科、血液免疫科消化器外科、小児科、東北メディカルメガバンク等の各々の領域の専門医が連携して指導する。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方のがん診療連携拠点病院に勤務し、多職種と連携した質の高い緩和医療を普及</li> <li>・2～3年後に緩和医療専門医取得</li> <li>・大学等の研究機関と連携し、緩和ケアの臨床研究も積極的に実践</li> </ul>